

まちの話 題



生家跡地を市に寄贈

福島利定さん（佐賀市）と、福島春夫さん（新潟県佐渡市）が、小城町上町の土地及び建物（578平方メートル）を市に寄贈されました。

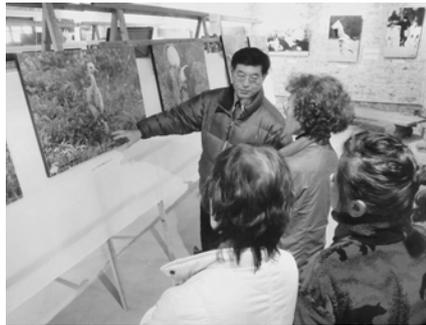
この土地は福島さん兄弟が昭和20年まで生まれ育ったところで、その後別の人が所有されていました。

現在は、老朽化により使われていなかった土地家屋を買戻して、地域発展のために活用してもらおうと寄付されたものです。

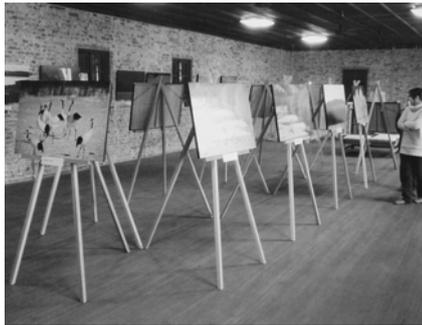
市では、近隣の観光・物販施設の駐車場用地として利活用を検討しています。



丹頂鶴の写真展に多くの来場者



写真の説明を熱心に聴く来場者



選びぬかれた80点の作品が並ぶ

水瀬しゅんぎょう丹頂鶴写真展が、1月22日（金）から10日間にかけて牛津赤れんが館で行われ、期間中852人の方が会場を訪れました。

水瀬カメラマンは、丹頂鶴に見せられ、25年間に亘り北海道釧路湿原で撮影を続けてられています。

雇用促進住宅の存続を願う住民の声

雇用促進住宅区長の山村孝さん他3名が、1月25日（月）に集まった1,000名以上の署名を市長へ手渡しました。

国は、全国の雇用促進住宅を、平成33年度までに廃止することを決定。それ以来、小城宿舎のある地元校区の方々の購入を求める署名活動が行われています。

今回は、昨年に続いて2回目の提出で、前回分まで合わせると約3,000名にもなる署名が集まっています。



小城うまかばい給食



市長も一緒にいただきます！



1月28日（木）、市内の小中学校で「小城市ふるさと食の日」を実施しました。

この日は、有明海漁協芦刈支所からのりや赤貝を提供していただき、手巻きにして食べる子どももいました。

子どもたちは、生産者の方々に感謝し、食材について学びながらおいしそうに食べていました。

※小城うまかばい給食について、詳しくは1月5日号の市報にも掲載しています。

園児にノリをプレゼント

佐賀県有明海漁業協同組合芦刈支所青年部（満岡敏広部長）が2月1日（月）、市内の幼稚園5箇所、保育園8箇所にノリ約1400袋をプレゼントしました。

2月6日の「ノリの日」にちなみ、地域への還元とノリのPRのために毎年行っているものです。

この日は、同青年部のメンバーが芦刈農村環境改善センターを訪れ、満岡部長が「自分たちが作ったおいしいノリを食べてください」とあいさつ、ノリを園児たちに手渡しました。



小城市合併5周年記念 NHKのラジオ番組が小城市へやってきた!

番組が小城市へやってきた!



アンカー：石澤典夫アナウンサー（左）と遠藤ふき子さん（右）



終了後、サインや記念撮影に応じるアンカー

「ラジオ深夜便」の公開録音が2月6日（土）にドゥイング三日月で行われ、会場は500人の観覧者で賑わいました。

第一部で、サガン鳥栖監督の松本育夫さんによる講演会があり、第二部ではスタジオを飛び出して来られた番組アンカーお二人が巧みな話術で、会場内を盛り上げました。

内容について詳しくは、市ホームページへ掲載しています。

佐賀県水難救済会支援自販機を設置

佐賀県水難救済会が佐賀県有明海漁協芦刈支所に支援自動販売機を設置し、2月13日（土）に除幕式が行われました。

水難救済会は、海で遭難した方々の救助を行うボランティアを支えるための団体です。

売り上げの一部が募金として佐賀県水難救済会の活動に必要な救助器材の整備や県内の危険な水辺に救命浮環を設置する事業（ライフリングプロジェクト）に充てられます。



晴田小校区が 県知事賞受賞



2月4日（木）代表して感謝状を受け取る南里校長先生（右）

晴田小校区では、学校・家庭・地域が一体となり、子どもの安心・安全のための活動を行っています。

今回の受賞は、「一人にしない 一人にならない 安全・安心の町づくり」をスローガンとして取り組んできた、日頃の防犯活動が認められたものです。

2月4日（木）に開催された『佐賀県地域安全フォーラム』の実践発表では、昨年度からこれまでの活動の紹介も行いました。

保護者及び地域の皆さまに感謝申し上げますとともに、今後ともご協力・ご支援を宜しく願います。

晴田小学校

春を迎える 本告自治会 文化作品展

2月6日（土）・7日（日）に行われた作品展には、3歳から85歳まで幅広い年齢層が出品され、会場には絵画や書、手芸や短歌など、125点にもおよび力作が展示されました。

7日（日）には、お茶席も設けられ、終日多くの来場者で賑わいました。

本告自治会は、他にも夏祭りや芸能フェスティバルなど多彩な行事を毎年開催されています。

